

HOKUBU・INFORMATION

たんぽぽ



発行 北部地域振興課
住所 〒720-1132
福山市駅家町倉光37-1
電話 (084) 976-9460

E-mail: hokubu-chiikishinkou@city.fukuyama.hiroshima.jp



多文化共生連続講座

【人権・社会教育活動事業】

第2講座

映画「黒川の女たち」上映会



80年前の戦時下、国策のもと実施された満蒙開拓により、中国はるか満州の地に渡った。
1945年、関東軍敗走の満州で待ちうけた、黒川開拓団の壮絶な運命。記憶が歴史になる前に、未来へ遺す。戦禍を生きた人びとの証言。
いま知るべきことがここに在る。

(上映時間 99分 2025年作品)

日時:2026年1月17日(土) 13:30~15:30(開場 13:00)

会場:北部市民センター ホール (福山市駅家町大字倉光37番地1)

入場無料・申込不要

主催:北部地域振興課

共催:福山市中国帰国者をささえる会

中国・四国中国帰国者支援・交流センター

金山 梅子さん、水崎 一穂 さん(中国・四国中国帰国者支援・交流センター)によるお話もあります。

第3講座

違いを認め合える社会へ —私の歩んだ道と未来への願い—

中国帰国者3世として生まれ、日本で暮らす中で感じてきた中国、日本へのそれぞれの思いや自身が周りの人にささえられてきた経験から、現在はささえたいとの思いで活動されていることなどお話しいただきます。

日時:2026年2月8日(日)13:30~15:30

会場:しんいち市民交流センター ホール(福山市新市町大字新市 1061 番地 1)

講師:石井 美芳さん(中国帰国者3世)

客本 牧子さん(福山市中国帰国者をささえる会)

主催:北部地域振興課

共催:福山市中国帰国者をささえる会/中国・四国中国帰国者支援・交流センター

問合せ先:北部地域振興課(Tel 084-976-9460・FAX 084-976-8150)

本市では安心安全で暮らしやすい地域づくりを支援するため、行政・市民・企業等の多様な主体との連携事業に取り組んでいます。そこで、今年度の北部市民フェスティバルは、外国人市民も多く在住する北部エリアで多文化共生をテーマに地域の魅力を「知る・体験できる・感じる」交流事業を実施し、地域×企業×行政の連携を図ります。いざという時に学区の境界線や国や人種を越えて一緒に対処できる、また賑わいを創出できる関係性を構築し、地域力を高めるきっかけづくりをめざします。

■事業コンセプト■

多様性をテーマに誰もが交流しながら楽しめる

「食・体験・学ぶ・つなぐ」コンテンツ！で 北部を満喫しよう！！

■実施概要■

実施日：2025年11月30日（日）10:00～15:00

実施場所：北部市民センター

主催：北部市民フェスティバル実行委員会（事務局：北部地域振興課）

参加者数：1,300人



天候にも恵まれ、展示、体験コーナー、ステージ発表、模擬店などの分野で、団体・企業・福祉施設・ボランティアの積極的な協力もあり、工夫を凝らした盛りだくさんの内容で実施することができました。多くの方にご参加いただき、各地域・企業間等の交流をはかることもでき、次のまちづくりにつながる一歩となりました。

■オープニング■ ◆蛇円太鼓芸能保存会「太鼓演奏」

蛇円太鼓芸能保存会は、地元駅家町服部で1996年結成以来、北部地域のみならず市内各所で太鼓演奏を披露されています。今回は、若い世代を中心に、小学1年生も堂々と太鼓演奏を披露してくれ、会場を大いに盛りあげてくれました。



■屋外コーナー■

◆模擬店（中華ちまき、ヤンニョムチキン、カレー、豚汁うどん、山野っ粉だんご汁、コロッケ、えび天手打ちそば、台湾おでん、焼き菓子、飲み物、新鮮地元野菜、果物ほか）

◆わたがしづくり体験 ◆ポップコーン



★耕作放棄地を利用して育てた小麦で作っただんご汁や地元新鮮野菜の販売で地産地消を啓発！

★中国、韓国、台湾などの料理も出店されました。食を通じて多文化の発信や地域交流を図りました。

★社会福祉施設からは、作業所で作ったコロッケやバーガー、焼き菓子のほか小物などの販売をしていただき作業所の利用者の方々と、地域交流を図りました。

★スタンプラリーや各コーナー体験をすると、ポップコーンがもらえたり、わたがしづくりができるなど人気のコーナーとなりました。

◆体験（ベーゴマ、でんろんづくり、防災ゲーム、ミニゲーム）



- ★企業からは、昨年も人気のあったベーゴマ体験を実施していただき、こどももおとなも夢中でした。
- ★中国の「でんろん（提灯）」づくりでは、文化の創造や多文化共生について学ぶことができました。
- ★こどもたちが企画してくれたミニゲームが、人気でした。主体的にコーナーを運営する姿は輝いていました。
- ★防災ゲームやロープレスキューテクニック体験では、楽しみながら防災意識を高めることができました。

■屋内コーナー■

◆ステージ発表（フラダンス、踊り、健康体操）

◆展示（まちづくり事業の紹介、交流館・コミュニティセンター・地域振興課の事業紹介・行政相談）

◆ワーキングウェア即売会



- ★団体が日頃の練習の成果を発表。衣装や演出にも工夫を凝らし、出演者の楽しさが伝わってきました。
- ★地域活動のPRや事業の紹介や報告などを展示で行いました。
- ★企業からは、地域貢献を目的に人気の商品を破格で提供していただき、大人気でした。
- ◆体験（まがたまづくり、あるもんで工作、ティッシュアートばらづくり、鉄の重さ当てクイズ、おもちゃびょういん、ストラックアウト、フライングディスク、バスケットボール）



- ★ものづくりでは、それぞれがじっくり取り組み、創作活動を楽しみました。どの作品も素敵でした。
- ★ニュースポーツ体験では、障害者施設の利用者の方も一緒に参加し、交流を深めました。

■フィナーレ■ ◆ロープレスキュー実演

- ★建物から対面の車にロープを斜めにピンと張り固定、そこを斜めに滑らせながら救助担架を下ろしていきました。着地時には歓声が起こりました。日々救助活動をされている消防士のみなさんの姿は、私たちに勇気や希望を与えてくれただけでなく、防災意識を高めるきっかけとなりました。
- ★実行委員会より、ご来場いただいた方、協力団体、企業等への感謝の気持ちを述べ、今後も共に幸せに暮らせる地域にしていましょと締めくくり閉会しました。





ふくやま権大学2025

【参加無料】 【要申込】

※手話や要約筆記が必要な場合は、事前にご相談ください。

【表現コース】「ちがいを重ねてひとつになる～演劇を通じて出会ってみよう～(全3回)」

①1月17日(土) 講義「表現方法を学ぶ」

ワークショップ「演劇の手法を使ったコミュニケーションゲーム」

②1月24日(土) グループワーク「わたし」を表現し、「あなた」と交わる

③1月25日(日) グループワークと発表「わたし」と「あなた」を「みんな」に伝える

●会場 福山市西部市民センター(①③は2階ホール、②は5階多目的室) ●時間 13時～17時

●講師 一般社団法人 舞台芸術制作室無色透明 ●定員 20人(先着順)



【表現コース】
申込フォーム

【主催・問合せ・申込】 多様性社会推進課 TEL 084-928-1006 FAX 084-928-1229

第17回 加茂知っとる検定 参加者募集!

《日時》 2026年(令和8年) 2月14日(土) 10:00～

《場所》 加茂交流館 《参加費》 無料

《申込方法》 電話でお申し込みください。

申し込みの締め切り後、受験票を開催日5日前までに送付します。

《申込締切》 2026年(令和8年) 1月31日(土)

***** 第17回加茂知っとる検定実施要項(抜粋) *****

【目的】 加茂の魅力あふれる歴史・文化などを見つめ直し、郷土を愛する心を育む。

【受験資格】 加茂地域に興味のある人(原則として小学校4年生以上)

【出題形式】 一般(高校生を含む16歳以上) …………… 100問出題し4者択一(90分)
小・中学生 …………… 50問出題し3者択一(60分)

【出題範囲】 「加茂知っとる検定テキスト」の内容を中心に出題
※12月20日(土)から受験希望者にテキストを配布します。

【合格基準】 一般 …… 正解率70%以上	小・中学生 …… 正解率60%以上
1級(90～100問の正解者)	1級(40～50問の正解者)
2級(80～89問の正解者)	2級(35～39問の正解者)
3級(70～79問の正解者)	3級(30～34問の正解者)

【合格発表】 2026年(令和8年)3月上旬頃(合格者に郵送で通知)
※1級合格者については、3月中旬に表彰式を行います。全問正解者には特別賞があります。

第17回加茂知っとる検定の申込み・問合せ先 加茂交流館(Tel 972-5541)



まちパス
ポイント
25P



わたぼうし 北部市民フェスティバル

北部市民フェスティバルは、6年ぶりに駅家で開催となり、多くの来場者でにぎわいました。世代や立場、背景の異なる人々が集い、笑顔で交流する姿は「ひとの輝き 織りなす未来」というテーマを実感させるものでした。一人ひとりの違いを認め合い、尊重することは人権を大切に社会の基本です。

生涯学習は学びや体験、対話を通じて相互理解を深め、誰もが安心して参加できる地域づくりを支えてきました。市民・団体・行政がそれぞれの役割を持ち、協働しながら多世代・多文化の交流を重ねることで、人の可能性は広がります。こうした積み重ねが、人を生かし地域全体の力となって未来へつながっていくのだと思います。

たんぽぽ200号をそのまま読むことが困難な方のために、営利目的を除き録音・拡大写本などを行うことを認めます。

